

地方創生と防災を支える「動く」コンテナホテル
「HOTEL R9 The Yard」シリーズが
「第10回ジャパン・ツーリズム・アワード」で審査委員特別賞を受賞！
宿泊を通じてまちのにぎわい創出へ。災害時には被災地支援にもつながる取り組みが評価

株式会社デベロップ(本社:千葉県市川市、代表取締役社長CEO:岡村 健史、以下「デベロップ」)が運営するコンテナホテル「HOTEL R9 The Yard」シリーズが、「第10回ジャパン・ツーリズム・アワード」(主催:公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会、日本政府観光局)において、審査委員特別賞を受賞しました。



第10回ジャパン・ツーリズム・アワード 表彰状

【「ジャパン・ツーリズム・アワード」とは】

「旅のチカラ」の再生と持続可能性の確保につながる優れた取り組みを表彰し、広く参考となる事例として紹介するアワードです。公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会、日本政府観光局が主催し、第10回となる今回は過去最多となる272件の応募がありました。

審査では、革新性、事業性、持続可能な観光への貢献、地域活性化への貢献などの観点から評価が行われました。

ジャパン・ツーリズム・アワード紹介ページ: <https://www.t-expo.jp/biz/program/award>

【受賞した取り組みと評価のコメント】

当社は、移動可能な小規模コンテナホテル「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」を、郊外のロードサイドで自社開発・運営し、全国での出店を進めています。また、有事には「レスキューホテル」として、要配慮者等の宿泊施設や医療拠点として活用でき、移動も可能な仕組みを備えています。こうした平時の宿泊需要の創出と有事の防災機能を両立する取り組みが評価され、同賞を受賞しました。

審査では、出店地域のにぎわいづくりや関係人口の創出に加え、防災・減災の観点からも社会的意義の高い取り組みであるとの講評をいただきました。また、地域の雇用促進や環境負荷の低減にも寄与する、地方創生と持続可能性に資するモデルとして位置づけられました。

【「HOTEL R9 The Yard」シリーズについて】

当社が運営するHOTEL R9 The Yardシリーズは、建築用コンテナモジュールを客室に利用したコンテナ型のホテルです。全室が独立しているため、隣室と壁を接さず、静粛性とプライバシー性に優れます。13㎡の室内には、良質なベッド、ゆったり使用できるユニットバス、冷凍冷蔵庫、電子レンジ、加湿空気清浄機等を備えており、シンプルながら高い快適性を実現。多くのお客様の好評を得て、「HOTEL R9 The Yard」シリーズは全国で143店舗5,711室を運営中です(2026年10月15日現在)。

また、有事の際には、国や自治体等の要請に基づき、客室をすみやかに被災地へ移設し避難施設等にご利用いただく「レスキューホテル」としての役割を担うことで、「災害に強い社会」および「未来の命や暮らしを守ること」に資するよう努めます。なお、「動くホテル」「レスキューホテル」との語および、それらの関連標章※は、各々、末尾のとおり、商標登録をしております。

【旅もビジネスも、自由に自分らしく。くつろぎへのこだわり】

R9 HOTELS GROUPのコンセプト「旅も、ビジネスも、もっと自由にくつろぎを。」をもとに、お客様が自由で快適に過ごせるホテルづくりにこだわっています。

① 自分の時間も、大切な人との時間も、思い思いに過ごせる

全室が独立したプライベート空間となっており、電子レンジや冷凍冷蔵庫も客室内に備え、共用部も最小限にすることで、ホテルにしながら、自分の部屋のようにゆったりとおくつろぎいただけます。仕事の後のひとときも、家族や友人との滞在も、それぞれのスタイルでお過ごしいただけます。

② 車での移動を、もっと手軽に、自由に

客室の目の前に車を止められるため、チェックイン後はそのまま客室のそばまで車を移動できます。旅行や趣味の荷物が多いときも、車から客室までスムーズに荷物を運べます。ICや幹線道路からアクセスしやすい施設が多く、出張にも旅行にも便利です。

③ 明日を心地よく迎えられる、こだわりの設備

翌日を心地よく迎えていただけるよう、寝具をはじめ、客室の設備にもこだわっています。良質なマットレスを採用し、全室ダブルベッドを標準とするほか、広々としたデスク、加湿空気清浄機、2ドア冷凍冷蔵庫などを備えています。仕事の前後も旅の途中も、自分のペースでゆったりと過ごし、翌日へつながる心地よい時間をお過ごしいただけます。



HOTEL R9 The Yard 外観(画像は富岡七日市店)

ホテル アールナイン ザ ヤード シリーズ ブランドページ: <https://hotel-r9.jp/brands/theyard/>

【東日本大震災の経験をもとに実現した「レスキューホテル」誕生の経緯】

2011年の東日本大震災では、コンテナ型備蓄倉庫の寄贈や復興従事者用の仮設宿泊施設の建設などの為、震災後間もなく現地に入りました。被災地の方が多くの避難所で生活に大きな負担を強いられている状況を目の当たりにし、発災後に安心安全なプライベート空間を迅速かつ簡便に提供したいという想いで誕生したものがレスキューホテルです。

R9 HOTELS GROUPの1例目として、宮城県石巻市で復興従事者用宿泊施設として利用されたコンテナを栃木県佐野市に移設し2017年10月「HOTEL R9 SANOFUJIOKA」としてリニューアルオープン。その後、更なる移設性を高めるべく1台1客室型に改良、2018年12月に、動くホテルの1例目として、「HOTEL R9 The Yard(ホテル アールナイン ザ ヤード)」シリーズ1号店が栃木県真岡市にオープンしたことを端緒として本シリーズを全国各地へ展開。全国どこへでもすみやかにレスキューホテルが駆けつける体制づくりを目指します。

レスキューホテル ウェブサイト: https://www.dvlp.jp/lp/rescue_hotel

■レスキューホテルは「日常時」と「非常時」のどちらにおいても役に立つ商品として「フェーズフリー認証」を取得しております。

■災害時の備えを全国へ展開し、強靱なまちづくりに貢献～SDGsの取り組み～

レスキューホテルは、「SDGs事業認定」を取得しております。災害時の備えとして自治体との協定締結の輪を広げ、各自治体のBCP(事業継続計画)に寄与し、持続可能な開発目標の達成に貢献します。

【運営会社】

会社名： 株式会社デベロップ
代表者： 代表取締役社長CEO 岡村健史
所在地： 千葉県市川市市川一丁目4番10号 市川ビル8階
設立： 2007年2月
事業内容： ホテル事業、エネルギー事業、建築不動産事業
ホームページ: <https://develop-group.jp>



※「レスキューホテル The Yard(商標 第6240114号)」、「災害支援型レスキューホテル(商標 第6394774号)」、「医療従事者支援型レスキューホテル(商標 第6394775号)」その他「レスキューホテル」の語を用いた商標、並びに「動くホテル The Yard(商標 第6240108号)」その他「動くホテル」を用いた商標は、デベロップの登録商標です。

【本リリースに関するお問い合わせ】 株式会社デベロップ 広報担当

Tel: 047-712-5112 Email: pr@dvlp.jp